

「目標に向かって」

私はこの度、富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング株式会社を受験し、内定をいただくことができました。

私は中学時代から就職したいと考えていました。高校に入学してからは電気の基礎やプログラム、実習を通して工業の知識を学んでいくなかで製造関連の仕事に就きたいと思うようになりました。3年生になり、総合的な探究の時間に企業ガイダンスが2回に分けて行われました。合計14の会社が来ており、話を聞いていく中で興味がわいた企業がありました。その企業が富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング株式会社でした。他の企業の話の聞いても気持ちは揺らぐことがなく、この企業で働きたいと強く思い、受験することにしました。

受験する企業が決まってからは先輩方の受験報告書を見て対策をしていきました。試験内容は面接、作文、SPI、適性検査の4つがありました。学校では面接練習、家ではSPIと作文に取り組みました。面接練習は言葉遣いや姿勢、態度、声量など相手に失礼のないように気を付けることが沢山ありました。初めの頃は答えることに必死で無意識に早口になることや、声が小さくなる事が多くありました。その為、口を大きく開く事を心掛けてははっきりと話すことに注意して練習しました。さらに面接ノートを作り、練習で答えられなかった質問や事前に作成した答えを改善するなどの努力を重ねました。その成果もあり練習からでもどんな質問にも答えられる自信ができました。SPIでは早く問題を解くことが重要でした。SPIの問題集を何回も解き、インターネットで問題を調べて多くの種類の問題を繰り返し解いていきました。勉強は積み重ねが大切なのだと思改めて実感しました。作文は受験報告書にテーマが書いていたので、まずはそのテーマに沿って書いていきました。A4用紙2枚に書くのは意外と大変で後半の方に似たようなことを書いてしまうなどエピソードをうまく書くことが出来ませんでした。一回書いてみるとどの位書けるかが分かるので、何度も作文を書いて練習をした方が良かったと思いました。

試験当日はもちろん緊張もありましたが、今までやってきたことを思い出し精一杯取り組みました。作文、SPIが終わり面接の時間が一番緊張しましたが、気持ちを切り替えて挑みました。

結果がくるまでは不安でしたが、内定通知が届いた時はとても安心しました。私がここまで来ることができたのは担任の先生、面接練習をして頂いた先生方、進路指導の先生、支えてくれた家族、一緒に頑張ってきた友人といった多くの方のおかげだと思っています。

進路活動を通して支えられるありがたさを改めて実感しました。後輩の皆さんもこれから悩むことが多くなるかと思いますが、その時は一人で抱え込まずに周りの先生方や友人を頼ってください。そして後悔をしないように、その時出来る最善の行動を心掛けられるように頑張ってください。心から応援しています。

「自分を信じろ」

私はこの度、北上地区消防組合消防本部に採用が決まりました。私が消防士を目指したのは5歳の頃でした。家族旅行で東京を訪れた際に東京消防庁ハイパーレスキュー隊の施設を見学し、消防士ってとてもカッコいいなと思い目指すようになりました。また、父と叔父が消防士ということもあり将来、私も消防士になりたいと考えていました。

冬休みや、春休みには課外に参加し勉強していましたが、野球の練習が終わり家に帰るのが毎日21時過ぎて疲れて勉強をしない日々が続いていました。また、心のどこかになんとかかなるという余裕がありましたが、この余裕が悲劇を招くこととなります。2年生の3月に最初の模試があり半分は取れるだろうと思っていましたが、実際に解いてみると時間が少なく感じ、問題がいつも以上に難しく感じました。模試の結果が届きとても絶望しました。40問中10点。これまでの余裕は不安に変わり、このままだと絶対落ちると思い、とにかく過去問を解き続けました。段々と解いていくにつれて少し勉強が楽しいと思えるようになり、結果にも徐々に表れてきました。また、夏休みはMCOOLの公務員試験講座に通いほぼ毎日勉強し、何とか1次試験は合格できました。ちなみに、北上地区消防組合の試験はSPI3でしたが専門学校の先生は個別にSPI3も丁寧に教えて下さるので夏休みは専門学校に行くことを勧めます。体力試験は、反復横跳び、握力、背筋力、シャトルランの4種類があります。平均ぐらいでいいやではなく、1番を目指すことが大切です。そのために毎日トレーニングしましょう。特にシャトルランは自分との戦いなので、絶対消防士になるという強い気持ちを持ちながらがむしゃらに走りましょう。最後まで絶対諦めないで取り組めば自ずと結果は付いてきます！

2次試験は個人面接でした。面接練習は他の合格者の誰よりも多く取り組むこと、毎回違う先生と練習すること、ありとあらゆる質問に慣れておくことを意識しました。最初は上手く話せず、また長々と話していましたが、何回も練習をしていくに連れ、端的に、簡潔にまとめて話せるようになりました。これをマスターすると、相手に聞きやすく、また、心に響く面接が出来ると実感しました。先生とだけではなく、友達や家族にも協力してもらいトータルで30回以上は面接練習をしました。何回も練習すると頭の中で考えなくても自然と言葉が出てくるようになるので、それぐらいやれば間違いないです。また、絶対自信となります。私のやり方なのですが、面接練習でボイスレコーダーを使い実際に自分の声を聴いてみると、話す速さや声のトーンなどが分かり、また自己分析がしっかり出来てとても役立ちました。

私が北上地区消防組合に合格することができたのは、自分ひとりの力ではなく、公務員コース担当の先生をはじめ何回も面接指導をして頂いた沢山の先生方や友達、家族に支えて頂いたおかげだと思います。今後は周囲の方々への感謝を忘れず学校生活を過ごしていきたいです。

後輩の皆さんに伝えたいことは、試験勉強は早く取り組んだ方が良いという事と、運も大事ということです。運を貯めるために良い行いをしましょう。

最後に、これまで学んできたことを十分に活かし、市民の安心・安全を守る消防士になります。